

近年発行された岩盤不連続面に関連する記述のある書籍

タイトル	著者	出版社	販売価格	ページ数	出版時期	概要
岩の力学・基礎から応用まで	日本材料学会編	丸善	¥21,000	688p., 22cm	1993/12/31	岩の力学の基本的事項から、構造地質学、地球物理学、岩石力学、岩盤工学への応用まで、理学と工学を融合した広範囲に及ぶ研究成果を網羅した岩の力学に関する専門書である。内容は大学院用の教科書レベルであるが、現場技術者や専門家がそれぞれの研究分野の常識と問題点や関連分野の動向を学ぶのに最適の書となっている。本書は、「第I編 岩石力学の基礎」、「第II編 岩石力学からみた地球」、「第III編 岩盤工学への応用」の3編から構成され、不連続性岩盤は第III編において詳述されている。
ロックメカニクス	日本材料学会編	技報堂出版	¥3,150	264p., 21 × 15cm	2002/3/4	本書は、日本材料学会岩石力学部門委員会を主体とする新進気鋭の研究者・技術者によって執筆された工学部学生および若手技術者向けのロックメカニクスの入門書である。もちろん、ロックメカニクスに関連の深い周辺分野の技術者・研究者への解説書でもある。岩盤力学の基礎理論、岩盤の工学的特性、調査・計測および評価・解析手法に関する基本事項に加え、岩盤不連続性の評価・解析ならびに岩盤構造物設計についての最新の研究成果や新たな視点を交え、設計・施工への応用にも触れながら、ロックメカニクスの基本から応用までバランスのとれた解説を行っている。岩盤不連続面に関しては、主に「第6章 岩盤不連続面の評価と不連続性岩盤の力学」において記述されている。
岩盤崩落の考え方・現状と将来展望・実務者の手引き	岩盤崩落問題研究小委員会編	土木学会	¥3,780	CD-ROM + 小冊子 23p., B5	2004/3/31	本書は、教科書に相当する従来の出版「土木学会 岩盤斜面の安定解析と計測」と「岩盤斜面の調査と対策」を補足する「実務者のための手引き書」を目指したCD-ROM版となっている。ここでは、写真、動画などを豊富に用いた事例紹介、インターネットを使ったリンク先紹介、を特徴としている。これにより、現場事例、詳細情報などへのアクセスが容易になり、リンク先のさまざまな検索や新工法のダウンロードなどが可能になっている。つまり、現場に対応したさまざまな情報を辿る道筋が紹介されており、実務者のみならず、研究者、学生など幅広い人たちに有益な内容になっている。本CD-ROMでは、不連続面についての幾何学的情報取得方法や不連続面の物性値の設定方法を紹介している。また、不連続面の特性を分析し、その種類に応じた有効な調査法とその適用法を事例に基づいて論じている。
新規制定地盤工学会基準・同解説 岩盤の工学的分類方法 (JGS 3811-2004)	岩盤分類基準化委員会編	地盤工学会	¥1,950	70p., A4	2004/3/31	我が国で用いられている岩盤分類には、目的、対象構造物、地質などにより様々な方法があるが、岩盤を取り扱う際の共通言語としての統一基準が求められている。また、国際的には、ISOなど地盤の試験・調査に関する国際規格化の動きが近年活発になっている。このような背景のもとに我が国初の統一基準として作成された本基準は、カラー写真や各種相関図など豊富な実例を盛り込んでおり、岩盤技術必携の書である。本書では、特に「2.3 不連続面に関する調査」および「3.3.3 不連続面に関する調査」において記述されている。
Comprehensive Rock Engineering: Principles, Practice & Projects	John A. Hudson編	Pergamon Press	¥62,604	4,500p.	1993/8/1	岩盤力学および岩盤工学の各専門分野における世界的な第一人者(25ヶ国, 200名)によって分担執筆され、主要なテーマごとに全5巻 (Volume 1: Fundamentals; Volume 2: Analysis and Design Methods; Volume 3: Rock Testing and Site Characterization; Volume 4: Excavation, Support and Monitoring; Volume 5: Surface and Underground Project Case Histories) および4,500ページから構成される大作である。岩盤不連続面に関する内容は、主にVolume 1からVolume 3において各巻のテーマに則して詳細に記述されている。